

教育課程・学習指導改善の目標と柱
(長野県教育委員会)
目標 豊かな人間性・自ら学び自ら考える力などの「生きる力」をはぐくむ教育の推進

学校長の教育理念
将来自立して社会に貢献できる人に育てるために、「生徒が主人公となる学校」を目指して、学び合う授業と支え合う学級をつくり、志高く主体的に学び続ける生徒を育てる。

建学の精神

広徳修己

(徳を広め、己を修める)
校訓 「こうとくの心」



「こ」 向学の心 (自主)
「う」 敬う心 (敬愛)
「と」 共に生きる心 (共生)
「く」 くじけない心 (健全)

<長野市教育の基本理念>
明日を拓く深く豊かな人間性の実現
長野市は市民の皆様とともに
広い視野から思いやりの心を育み
自律心や豊かな情操 想像力を養い
自然と文化あふれる郷土に誇りを抱き
明日を拓くための深く豊かな人間性の実現を目指します。

「第三期しなのきプラン」2021～2023
目指す人間像：グローバルな視野を持ちながらローカルにたくましく生きる自立した18歳

学校教育目標

志高く主体的に学びつづける生徒

【めざす生徒の姿】

- ・ 思いやりと感謝の心を持ち、支え合って生きる生徒
- ・ 課題に対応する力を身に付け、学び合い、探究する生徒
- ・ 自分のよさを見つめ、学びを人生や社会のために生かそうとする生徒

生徒が主人公となる学校に向けた令和3年度の重点と手だて

重点1 「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けた授業づくり

- ① 学校づくりの根幹を「授業づくり」ととらえ、学習指導と生徒指導を一体とした「学び合いの授業」を全教科・領域で展開する。
 - ② 生徒が主人公となって主体的・対話的に学ぶ授業を展開できる指導力を高めるための授業研究を充実させる。
 - ③ 「授業がもっと良くなる3観点」を大切に授業、授業のユニバーサルデザイン化を通して、知識・技能とともに思考力・判断力・表現力や活用する力の向上をめざす。
 - ④ チーム力(教科会)をフルに活用した授業づくりを行う。4つの思考スキル「理由づける・関連づける・比較する・要約する」、OPPシート、思考ツールを活用し、「メタ認知能力」を高める授業をめざす。
 - ⑤ 総合的な学習の時間を「学びの要」ととらえ、カリキュラムを修正・改善しながら「探究的な学び」を展開する。
 - ⑥ コロナ禍の状況に応じた授業づくりの推進。自学自習の資質能力の育成を図る。ICTの積極的な活用。職員の研修。
- NRT学力調査、全国学力・学習状況調査の分析をもとに指導方法を改善し、全国平均並みの学力を達成する。
 - ・ 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」の回答率を90%以上にする。(主体的な学び)
 - ・ 「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表したか」の回答率を80%以上にする。(論理的思考力)
 - ・ 「生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができたか」の回答率を80%以上にする。(学び合いの質の向上)
 - 「授業を見合う旬間」を年2回設定する。また、各教科で指導者を招いた授業研究や教材づくり研修を年1回行う。

重点2 人間関係力と自己肯定感を高める学級づくり・ 集団づくり

- ① 学級担任と担当が連携して集団づくりを行い、新たな不登校・不応答生徒を出さない学級づくりをする。
- ② いじめや差別を自分の問題としてとらえ、互いを尊重することを学ぶ人権教育の充実を図る。
- ③ 学年会や校内委員会の充実、保健室や特別支援学級、校内中間教室、LD等通級指導教室との連携により、支援を必要とする生徒に組織的な支援を行う。また、保護者を交えた支援会議を定期的に行う。
- ④ 生徒会三本柱(あいさつ、無言清掃、一分前着席)に教師も自ら取り組む。

重点3 地域とともに歩む学校づくり

- ① 「学校運営委員会」の枠組みと役割を明確にし、平成29年度より出発した「信州型コミュニティ・スクール」により、学校・家庭・地域が連携した学校づくりを進める。
- ② 「社会に開かれた教育課程」の創造に向けて、地域の教育力を取り込み、地域に飛び出す活動の充実を図るとともに、小学校との接続・連携を強化する。
- ③ 生徒会活動や総合的な学習の時間、部活動、ボランティア活動などにおいて、「地域貢献型の学習や活動」を充実させていく。
- ④ 保護者や地域と連携して、安心・安全で美しい環境づくり、学びを支える環境づくりをさらに進める。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染拡大防止にむけた新しい生活様式の定着と対応を進める。